

－ 記者発表資料 －

**国内最大水深・高規格コンテナターミナルである  
横浜港南本牧ふ頭MC4コンテナターミナルが  
8月7日に暫定供用を開始します！**

横浜港南本牧ふ頭MC4コンテナターミナルは、令和2年7月末に岸壁及びヤードの整備が概ね完了し、本年8月7日より暫定供用を開始します。

横浜港は年間約8千万トンの外貿貨物、約300万TEU（※）のコンテナを取り扱う国内有数の港であり、私たちの暮らしを支えています。

横浜港の主力ふ頭の一つである南本牧ふ頭では、コンテナ船の大型化や船社間の連携による航路の再編など情勢が変化する中、大型船の入港や増加する貨物に対応するため、我が国最大唯一となる水深18mの耐震強化岸壁を備えたコンテナターミナルの整備を進めてまいりました。

この度、MC4が運用を開始することで、MC3・4は水深18m、延長900m連続バースとして世界最大級のコンテナ船に対応できる国内最大水深を有する高規格コンテナターミナルとなります。さらに、MC1～4のすべてのターミナルの一体利用が可能となります。多方面の航路の船舶が船型やスケジュール等に応じて、施設全体を柔軟に利用できる画期的な運用が実現でき、高規格な施設能力を最大限に発揮できることとなります。

なお、管理棟等を含む全体施設の供用開始は、令和3年春頃を予定しています。

（※）TEU・・・20フィート（コンテナの長さ）換算のコンテナ取扱個数の単位

20フィートコンテナ1個を1TEUとして計算

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、神奈川県政記者クラブ、横浜海事記者クラブ、  
横浜市政記者会、物流専門紙

問い合わせ先

○国土交通省関東地方整備局 港湾空港部

港湾高度利用調整官 笠井 良真（かさい よしまさ） TEL：045-211-7437

○横浜市港湾局 物流運営課

担当課長 帰山 誠人（かえりやま まこと） TEL：045-671-2919

○横浜川崎国際港湾株式会社 運営部

運営部長 工藤 良司（くどう りょうじ） TEL：045-680-6584

## 横浜港南本牧ふ頭 MC4コンテナターミナル 位置図



出典 国土地理院 地理院タイルに名称等を追記して掲載

## 横浜港南本牧ふ頭 MC4コンテナターミナル 施設概要

世界最大級のコンテナ船にも対応できる、国内最大水深を有する高規格コンテナターミナルであり、国際コンテナ戦略港湾の中核的な施設です。

### 【施設概要】

- 岸壁(耐震強化) : 水深18m (コンテナターミナルとして国内最大水深)
- 延長 : 500m
- コンテナクレーン : 計画3基中1基整備済み (24列9段積み対応・免震構造)
- 総面積 : 22.5ha
- コンテナ蔵置能力 : 約12,000TEU (港湾計画上の蔵置能力)
- 特徴 : コンテナ船の大型化や取扱貨物量の増大に対応する大水深・高規格コンテナターミナルとして、国際基幹航路の我が国への寄港の維持・拡大に貢献します。

岸壁(水深18m)(耐震強化)  
延長500m

コンテナクレーン  
24列9段積み対応・免震構造

コンテナ蔵置能力  
12,000TEU

